

事業番号	15 08 07	事業改善シート (27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	夜間定時制高等学校夜食費			担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	保健厚生課	
	施策の総合的展開				E-mail	hokenko@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	不明 ~		

1 事業の概要

目指す姿	高等学校の夜間課程において学ぶ青年の心身の健全な発達に資するとともに、勤労青年の修学を促進し教育の機会均等を保障する。						
現状 (予算編成時)	<input type="checkbox"/> 「体調が悪い」という生徒の割合・・・31% (H25保健厚生課調査) <input type="checkbox"/> 1日の食事回数が給食を含めて1~2回・・・約40% (H25保健厚生課調査)						
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 <input checked="" type="checkbox"/> 夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律 <input checked="" type="checkbox"/> 県立高等学校生徒に対する補助については県で行うことが適当 県民との協働による実施：実施は困難					
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H27)						
	<input type="checkbox"/> 「体調が悪い」という生徒の割合を現状より低い数値に改善する。(H26:30%) ※事業の実施により、生徒の健康改善につながるよう目標を設定。						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H27事業実績		H27 (当初)	H27 (決算)
	夜間定時制高等学校における夜間学校給食(夜食)の実施	委託	調理委託校(3校)に対する人件費を負担委託先(㈱三和商会、㈱メフォス)(各高等学校から委託)	14,373	5,990	12,488	
		直接	弁当校(10校)補食校(3校)の食材加工賃を負担	7,174	9,698	8,673	
	夜食に係る食材料費の補助	直接	夜食に係る食材料費を補助(1食あたり71円)	12,351	8,311	11,118	
	合計			33,898	23,999	32,279	

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	35,458	34,694	33,898	32,279
	補正予算	-7,181	-7,494	-6,997	
	合計(A)	28,277	27,200	26,901	32,279
	一般財源	28,277	27,200	26,901	32,279
	県債				
	国庫支出金				
	その他	0	0	0	0
	決算額(B)	26,442	24,662	23,999	
概算人件費	職員数(人)	0.25	0.25	0.25	0.25
	概算人件費(C)	2,065	2,065	2,069	2,069
	概算事業費(B(A)+C)	28,507	26,727	26,068	34,348

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
「体調が悪い」という生徒割合の改善	29.4%	29%	36.1%	未達成	29%

目標に対する成果の状況	<input checked="" type="checkbox"/> アンケートの結果から、はっきりと「体調が良くない」と答えている割合は5.1%と、前年の6.8%から2%近く減少しているが、「あまり良くない」を含めた「体調が悪い」という生徒の割合は依然30%を超えている。なお、H26末実績は見込み値から実績値に修正した。 <input checked="" type="checkbox"/> 国の栄養基準等に基づいた給食を提供し、生徒の食生活の充実が図られるようにするとともに、給食費の負担軽減により、引き続き修学の促進、教育の機会均等を図っていく必要がある。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 夜間定時制高校への修学促進と、勤労青年の心身の健全な発達が食生活を通じて図られるよう、引き続き事業を実施していく。
--------------------	--